

## ZKV-1型 ダンプナー 取扱説明書

### 1. 用途

ブルドン管圧力計は過大圧や脈動圧に弱く、過大圧は指針のゼロ点浮きにつながり、何度か繰り返しますとブルドン管が破損する場合があります。又、圧縮機やポンプ等による激しい脈動圧がある場合、指針が連続的に激しく振れ、短期間でも圧力計内部稼動ギア等が摩耗し、指示不良が発生したり、前述の様にブルドン管が亀裂破損する場合があります。

ダンプナーはオリフィス効果を利用して、瞬間過大圧や脈動圧を抑制するためのものです。圧力計と配管接続部との間に取り付けて、このような現象を緩和する為に用います。

### 2. ご使用前に

#### 2-1

通常は中心ねじ①は締め込んでありますから、媒体の流れは遮断されていますが、念の為にドライバーで確認して下さい。

中心ねじ①が硬い場合は、六角ナット②を多少緩めますと、廻しやすくなります。

#### 2-2

2-1の後、六角ナット②を再度締め付ける場合、中心ねじ①は少し緩まった状態にしておいて下さい。六角ナット②を締め付けた後で中心ねじ①を手で締め込んで下さい。

### 3. ご使用方法

#### 3-1

中心ねじ①を左廻しに緩めると通路は開きます。

#### 3-2

調整は、運転開始時に圧力計の指針の振れが約1秒程度で最大圧になるように、少しずつ廻して調節しますと、一般には脈動圧に対し最良の効果が得られます。

#### 3-3

脈動圧調整が主体の場合、中心ねじ①を3-2の状態から少し緩めた位置から、圧力計の指針の振れ幅が極力小さくなるように、徐々に締め込んで調整して下さい。

#### 3-4

中心ねじ①を緩める程度は受圧媒体や圧力の大きさ、脈動の度合いによって異なりますが、締め込んだ位置から大凡0.5～1.5回転程度です。戻し過ぎますと、受圧媒体の漏れや、本体が破損する場合がありますので、ご注意下さい。

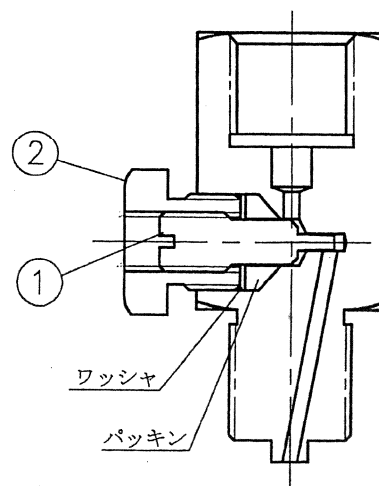
#### 3-5

隔膜装置と計測部の間にダンプナーをセットした製品の場合、封入液が漏れる場合がありますので調整はされないようにして下さい。調整軸部分には「調整済のため触らないで下さい」のシールを貼っています。

### 4. 仕様

最高使用圧力：20 MPa

使用流体：液体



(\* ZKV-2型の場合は、説明文章の中心ねじ①をハンドルに読み替えて下さい。)

以上

株式会社 第一計器製作所

〒660-0823 兵庫県尼崎市大物町1丁目7番2号

TEL 06 (6481) 5551 (代) FAX 06 (6401) 4646